



◆コロナ影響下の社会を考えるpart5

政府や報道のコロナへの評価が過大ではないかと、今号ではデータをもって示します。コロナによる死亡者は少ない方が良いのですが、自粛などの対策はコロナが社会に及ぼす被害に相当しているのかを考えなければなりません。疲弊しきった経済・自殺者の激増、出生数の激減など、将来に多大な影響を与える要素が目に見えてきました。大切な人や自分が死の恐れに直面する事は誰しも避けたいものですが、日本社会は冷静さを欠いていました。人の死に向き合える成熟した社会について、皆さんと考えていきたいと思ひます。



◆コロナと向き合う・死と向き合うということ

・新型コロナウイルスは罹患すると、これまで**70代の5%・80代の14%**の方が亡くなっている致死率が高い感染症であり、決して軽視はしておりません。

・R3. 6/23時点の70代・80代の方の1年を通しての**コロナ感染率は約0.5%であり、200人に1人**です(右上の表を参考)。平成30年に1万人あたり70代は180人・80代は791人の方が多様な原因で亡くなりました。直近1年間にコロナを原因とした死亡は1万人あたり70代は1人・80代は5人でした(青山まさゆき衆議院議員R3.6.16ブログより引用)。⇒コロナは70代・80代の方の**死因の約0.6%**に相当することになります。

・「変異株が増加」と報道されていますが、ウイルスは一般的には変異により弱毒化します。4月下旬から2か月のコロナ感染者の死亡率を追うと、**1.71%から1.56%へと減少**していました(*ただし、変異のみでなく、コロナ対応医療の進歩等の要素もあることでしょう)。

・人間は不死ではなく、致死率は最終的に100%です。**死因の0.6%を占めるに過ぎない**新型コロナウイルスです。社会がコロナと死に真正面から向き合う時ではないでしょうか。

・命に関する案件に確率の話を持ち上げる事へのご批判はあると思いますが、政治とは単に感染者をゼロにするという極めて一面的な見方だけではなく、経済苦で失われる命・子どもの成長・日本の将来など多角的な見方を持つべきと考えております。

ご意見お寄せください！

住所：伊勢崎市太田町1146-7 メール：swrmg866@ybb.ne.jp
電話：090-7836-3135(電話取れない時は折り返し電話します)
馬庭 充裕 (まにわ みつひろ)

—伊勢崎市議会議員— いせさき未来代表 1978年11月22日生まれ。42歳
尚学館中学(宮崎県)、日高高校(和歌山県)を経て、群馬大学卒業(理学療法士・呼吸療法認定士)。美原記念病院に勤務後、現職。市内太田町在住、家族は妻・娘・息子。
座右の銘：未来を予測する最善の方法は、自らそれを創り出すことである。

新型コロナワクチンについて (*令和3年6/28時点の情報から)

	人口	陽性者数	感染率	死亡者数	重症者数	(罹患時)死亡率
10歳未満	957万人	26361	0.3%	0	0	0.0%
10代	1095万人	58545	0.5%	0	0	0.0%
20代	1267万人	173193	1.4%	8	0	0.005%
30代	1381万人	116223	0.8%	27	0	0.02%
40代	1793万人	113710	0.6%	103	27	0.1%
50代	1674万人	102119	0.6%	291	58	0.3%
60代	1535万人	65950	0.4%	917	99	1.4%
70代	1227万人	57909	0.5%	2876	141	5.0%
80代	1191万人	57166	0.5%	7817	81	13.7%
	1億2536万人	771,176	0.6%	12,039	406	1.6%

①東洋経済・新型コロナウイルス国内感染の状況から各年代の陽性者数と死亡者数・重症者数をまとめたものです。**70代以上の方の感染した時のリスクが高い事**と「若者も多くが重症化し、亡くなる」という事実は無い事がご確認頂けます。

②ファイザー社製ワクチンの説明書にはこのように記載してあります。
◆新型コロナウイルス感染症の**発症を予防**します(発症予防効果は約**95%**と報告されています)。
◆現時点では**感染予防効果は明らかになっていません**。

⑥年齢別報告件数

年齢	コミナティ筋注		
	副反応疑い報告数	うち重篤報告数	
		うち死亡報告数	
0~9歳	0	0	0
10~19歳	66	9	0
20~29歳	2,461	238	4
30~39歳	2,937	295	1
40~49歳	3,650	362	6
50~59歳	2,329	221	5
60~69歳	949	105	18
70~79歳	559	153	54
80歳以上	718	326	166
不明	2	1	0
合計	13,671	1,710	254
(参考) 65歳以上	1,665	534	231

第62回厚生科学審議会資料

③接種2324万回に対して**副反応疑い報告数は1万3千回の0.06%(約1600回に1回)**。

又、全身反応は若い人ほど割合が高い**(2回目接種後の37.5℃以上発熱は20代で5割・70代で10%程度)**。

左表は接種2324万回に対しての報告数であり、年代別の接種数は明らかではない。

ワクチン接種における論点まとめ(*令和3年6月28日時点の分析)

- ①コロナは70代以上の方の感染時死亡率は高く、若者では低い(10代はゼロ)。
- ②発症予防効果は95%と高いが、感染予防効果は明らかになっていない。
- ③発熱などの全身反応及び副反応疑い報告数は若い方ほど多く、高齢者で少ない

公的情報も確認し、判断は自己責任でお願いいたします。

【伊勢崎市コロナワクチンコールセンターの電話番号は0570-017394】

①

まにわ充裕
代表質疑①

経済対策をより実効性の高いものとするために

5月臨時議会「経済対策」補正予算に対する質疑①

質疑…補正予算の経済対策「コロナ対策認定店応援金」&使って応援！「コロナ対策認定店応援チケット」は疲弊しきつた地域経済に光をあてるものですか。感染対策と事業者支援という事業の主旨を考えると、一つでも多くの事業所に申請頂きたいと考えます。周知や事業の成果となる申請の目標数についてお聞かせください。

答弁…職員が個別訪問し、ローラー作戦による制度の案内を行いました。6月1日号の市の広報誌に案内を掲載する予定で準備を進めております。コロナ対策認定店応援金の申請の目標数は、1000店舗に設定しております。

質疑…コロナ対策認定店応援金の対象は可能な限り拡げているのかお聞かせください。

答弁…新型コロナウイルス感染症対策に取り組む店舗を幅広く支援する目的から、8月19日が締め切りであります県の認定制度における第5次受付審査分までの全ての認定店を対象と致します。

質疑…コロナ対策認定店応援チケットは、まず1冊を当選者の方に割り当てていって、それ以上については再度抽選という形で、購入上限数については今一度検討すべきと考えますが、ご所見をお伺いいたします。

答弁…今回は必要冊数をあらかじめ把握致しまして、一人でも多くの方にご購入を頂きたいという事で考えております。

***応募者全員が支援チケットを最低1冊購入可能となりました。**（広報6月15日号掲載）

③

まにわ充裕
一般質問②

行政は様々な制度や居場所につなげられるような支援を

コロナ禍において複雑・多様化する困り事の支援について

質問…先日、男性目線では気付きづらい案件について、女性の方からお聞きする機会がありました。生理用品を公共施設で配布し、学校のトイレに常備して欲しいという要望でした。本来は持続可能な方法の検討が必要ですが、まずは備蓄品を利用して臨時的にマスク・食料・生理用品等を配布し、その際に市や県の生活相談・女性相談・就業支援等の相談窓口資料をお渡ししてはいかげでしょうか。生理用品を学校トイレに試験的にも配置する事で、子どもの貧困や先進諸国と比較し遅れている性教育など、見えてくる課題もあると考えますが、ご所見をお伺い致します。

答弁…備蓄品の臨時的な配布については、物品の流通状況や緊急性・重要性等を勘案して支給する事も可能であり、その際には生活相談に関する案内等を添えて配布する事も考えております。

本市の小中学校においては、生理用品を保健室に備えて対応しており、申し出た児童生徒が抱えるそれぞれの状況について養護教諭が把握し、適切な支援につなげられるとともに、衛生管理上の面においても、清潔なものを児童生徒に配布出来る良さがあります。学校における生理用品の配布については、保健室での対応を継続し、それぞれの児童生徒が抱えている状況や困り感に寄り添いながら支援してまいります。

*伊勢崎市教育委員会は6・7月に要保護・準要保護の小4〜中3の子どもを対象に生理用品3セットの配布を行いました。当会派は、群馬県立学校の方針のようにトイレへの常備を求めています。

②

まにわ充裕
一般質問①

ワクチン接種を希望される方が迅速に受けられる体制づくりのために

新型コロナウイルスワクチン接種事業について

質問…ワクチン接種の意見を総合すると、「どの医院に空きがあるのか分からない」「予約後の接種がいつになるか分からない」「市民全体の接種の進捗状況がわからない」「市内及び医師会とは、どういった事が協議され、決定されているのか分からない」等に集約され、市民の間には不安と混乱が生じています。予約も結果処理も分析もこのままアナログの状態を進めていくのではなく、改善すべきではないでしょうか。

接種計画・予約状況・接種済み状況が一目でわかるロードマップの作成と市内及び医師会との協議・決定事項の公表の考えについてお伺いいたします。

答弁…新型コロナウイルス接種の1回目・2回目の接種者数を毎日、情報提供しております。又、伊勢崎佐波医師会のご協力をいただき、国のコロナワクチンナビで案内している接種会場一覧で予約可能な医療機関が確認出来るように情報提供しております。

ロードマップに一覧として、医療機関ごとの接種計画や接種者の情報を掲載し、公表する事は、掲載可能な接種情報が整っていない事もあり、今後、伊勢崎佐波医師会と協議し、市民の皆さんが安心して安全にワクチン接種をしていただけるよう必要な情報がどのように公表できるのか検討してまいります。

市内や関係機関との協議内容や経過については公表する予定はありませんが、決定事項については今後も市の広報誌等により、迅速にきめ細やかな周知を行ってまいります。今後多くの市民の皆さまが安心して安全にワクチン接種を受けて頂きますよう正確な情報提供につとめてまいります。

④

まにわ充裕
一般質問③

コロナが落ち着いたも、自粛で健康が失われていけば、、、

コロナ禍における健康管理について

質問…適切な治療や予防により、多くの方が要介護状態に進まないで頂きたいと考えます。よこはまウォーキングポイント事業は、高血圧やうつ傾向の抑制に効果が見られ、群馬県も6月1日に同主旨のアプリを公開しました。伊勢崎市民の健康状態の認識についてお聞かせください。各部門で行っている運動習慣づくりの取り組みと課題、行政区におけるウォーキングイベントの推奨やウォーキングポイント事業の導入や県事業との連携について市長のご所見をお伺いいたします。

答弁…要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者を対象に実施している生活機能セルフチェックの結果については、令和元年度と昨年度を比較致しますと、栄養状態の低下傾向、認知傾向の低下傾向、うつ傾向の上昇など、今後何らかの介護が必要となる可能性が増加している状況であります。

課題としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、ふれあいの居場所などの活動が停滞し、派遣による指導が実施出来ない事であり、運動習慣に関し、市の広報誌へ特集記事の掲載やチラシの毎戸配布により対応しております。

市民の皆様への運動啓発が効果的に行えるウォーキングポイントとしてアプリの導入は有益であると考えますが、本市独自の導入は開発経費の課題があり、現段階では困難であると考えております。今後、県の事業展開を把握しながら若い年代から生涯を通じた健康づくりのツールとして活用していただけるよう連携してまいります。